

令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

アンコウ日本海西部

対象水域	日本海西部（福井～島根）	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
------	--------------	-------	---

(1) 調査の概要

- ・機構は魚群分布調査、標本船調査、生物情報収集調査を実施し、各県漁獲情報を集約
- ・各県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

各機関により、令和3年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施

- ・福井県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・京都府では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・兵庫県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・鳥取県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・島根県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・機構は魚群分布調査、標本船調査、生物情報収集調査を実施中

(3) 生物学的特性

(1) 分布・回遊：令和3年度評価報告書

(https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2021/report_2021_17.pdf、2023年11月20日閲覧)を参照

- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和3年度に作成および公表済み
(https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2021/report_2021_17.pdf、2023年11月20日閲覧)
- ・これまで得られた漁獲量集計値はキアンコウが含まれる値から算出した推定値であり、キアンコウを除外したアンコウの漁獲量を把握する調査が必要
- ・本種の資源動向や資源水準を判断するための長期的な漁獲量や資源量指標値を得ることが今後の課題